

9

心と心をビビビと結ぶコミュニケーションのお手伝いペーパー

SEP 2024  
VOL.179

# ishin-denshin

Let's コミュニケート!

質が悪くて困っています

きおく画伯

今も駅にいますか?

社長と行こう! こっそり食堂

レトロ喫茶万歳

水野印刷工芸  
社内報

ミデコの日々の取り組みを  
知っていただくため、  
社外にもお配りして  
います。

みかわんこ▶



特集

ソクチョ

カジャ

## 韓国・束草へが자!



# ソクチョ 東草ヘトスト!

韓国

お盆休みをフルに使い、6泊7日で韓国へ行ってきました。最近(でもないか…)では、韓国といえばK-POP、K-ドラマなど芸能コンテンツのイメージが強いですが、私の興味はもっぱら韓国語です。韓国語は驚くほど日本語とそっくりで、「30分マッサージ無料」「微妙な三角関係」などがそのまま通じるというのは有名な話。そんな韓国語の面白さにつられ、休み休み勉強すること10余年(途中約10年の無関心期)、今回、日々の勉強の成果を試すため一人旅に行ってきたので報告します。

ソクチョ アバイ村から見た東草の街並み。韓国ならではの高層マンションが立ち並びます。

## DAY 1 ソウル

21:00 仁川国際空港着の便で出発。ソウル駅前の宿のチェックインは23:30まで、もともとあまり余裕がなかったところに飛行機が遅れた+空港で迷ったことでいきなり遅刻の危機に。現地在住の友人の助けを借りて事なきを得ましたが(遅刻はしましたすみません)、詳しくもないのに節約根性で夜遅いギリギリの便を予約したことを反省。

## DAY 2-3 ソウル 原州

友人と原州に宿泊。ここは長野県のような避暑地で、広大なゴルフ場と朝から優雅なセレブ家族を目撃。もちろんオシャレなカフェにも行ってきました! 江原道はトモロコシが名産らしく、トモロコシコーヒーなるものを発見。もちろん注文。何の気なしに飲みましたが美味しすぎて目ん玉飛び出ました。激しくオススメです。



定期的さまざまなワークショップが開かれる、知識欲をくすぐるブックカフェ。お土産にハングルの絵本を購入しました。

cafe2

cafe1



ステキな絵本「鳥になりたい」

4日目~成果を試す一人旅スタート!

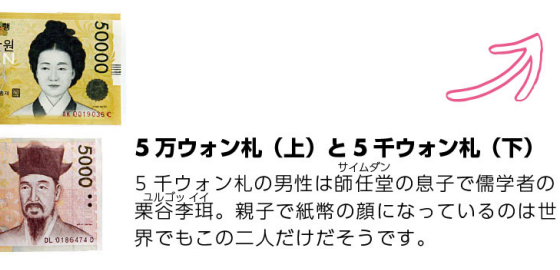
## DAY 4 カンヌン 江陵

高速鉄道 KTX で江陵へ。5万ウォン札に描かれた師任堂(朝鮮時代の女流書画家。良妻賢母の象徴)の生家である「烏竹軒」と、ビーチの近くにあるという「コーヒー通り」で優雅にカフェタイム、名物のじゃがいものできたお団子料理「カムジャオンシミ」に舌鼓を打ちつつ余力があればコーヒーの名店「ボヘミアン・パクイチョコーヒー本店」にも足を伸ばしたい…。と、うっすら色々と考えていたものの、実際にはバスを乗り間違えたり乗り過ごし、移動だけで数時間を無駄にして「烏竹軒」にはかへ行けませんでした(えっ!?)。



バスを乗り間違えてたどり着いた予定外のビーチ。パリビが眩しい。

カンヌン 江陵は美しいビーチが有名な港町で、夏は多くのサーファーで賑わいます。元在日韓国人のパリスタであるパク・イチユさんが2001年に本格的な焙煎コーヒー店をこの地にオープンしたことをきっかけにカフェが増加し、「コーヒーの街」として有名に。コーヒー好きが集まる東海岸の一大観光地です。



5万ウォン札(上)と5千ウォン札(下) 5千ウォン札の男性は師任堂の息子で儒学者の栗谷李珥。親子で紙幣の顔になっているのは世界でもこの二人だけだそうです。

## DAY 5 ソクチョ 東草

5日目は東草からバスでさらに北へ1時間、高城というまちにあるDMZ(軍事境界線)へ行く予定で朝早くに市外バス乗り場へ。インフォメーションで確認すると、なんと「バスでは行けない」との返答が。事前の下調べではDMZから約5kmの場所まではバスで行けるようだったので、そこから徒歩で向かうつもりでしたが…。それを伝えると、「無理です」と一笑に付されました(泣)。

DMZへは自家用車がタクシー、もしくはツアーに参加するしか行く方法はないそう。ツアーに空きがないか確認するも予約は叶わず。タクシーだと往復7万円以上するだろうとのことで選択肢に入らず。そんなわけで、今回の旅のメインと位置付けていたDMZと韓国最北の地への到達は残念ながら未達に終わりました。いつか必ずリベンジします!



代わりにこの日は東草から行ける韓国4番目に高い山、ソラッキン 雪岳山(1,708m)に登ることにしました。登山の計画はまったくなかったため登山らしい装備は何もありませんでしたが、山道は頂上まですべて整備されており、ペラペラのスニーカーでも登れる「ハードな散歩道」ぐらいのコースでした。頂上は日本ではなかなか見かけない(たぶん)切り立った岩。近くにいたアメリカ人女性が「これぞまさに、アジア〜!」と喜んでいましたが、私もアジア人ながら同じことを思いました。いかにアジアな山ですね!?



ザ・アジア〜!

## DAY 6 ソクチョ 東草

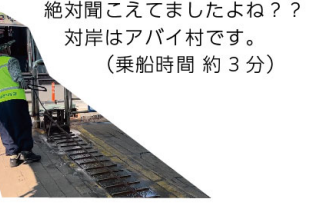
朝鮮戦争以前は北朝鮮側の実効支配下にあったまち。戦争の混乱の中で南側に逃れた人々が、落ち着いたら国に帰るつもりで境界近くに住み始めたものの帰ることができずに出来上がった「アバイ村」が有名です。

この日、一人旅3日目にしてようやく事前に調べたすべての目的を果たせました。



活気あふれる市場は歩くだけでも楽しい!

- 1 韓国唯一の人力渡し舟ケツベ 兩岸に繋がれたロープの間を舟が行ったり来たりするサステナブルな人力舟。ロープを引くおじさんに「アニョハセヨ〜」と笑顔で挨拶してみるも、無表情でガン無視されたのが逆に新鮮でした。いや、絶対聞こえてましたよね?? 対岸はアバイ村です。(乗船時間 約3分)
- 2 北朝鮮の人々が暮らすアバイ村 あゝ「冬のソナタ」と同シリーズの「秋の童話」の舞台になったことで人気の観光地になったらしいですが、未視聴のためその感動は味わえず。とても小さな村(島?)なので、特に飲食店などに入らなければ30~40分で大方見終わります。
- 3 カンヌン 江原道名物 オジンオスンデ 故郷の味を再現しようと、北朝鮮の方々が豚の腸の代わりに江原道でよく獲れるイカ(オジンオ)で代用して作ったスンデ(韓国式ソーセージ)。イカの胴体部分にご飯やさまざまな薬味を入れ、卵をつけて焼いた韓国版のイカ飯のような食べ物です。東草観光水産市場の人気店に並んで購入。うまし!



無表情でロープを引くおじさん。舟内は「トロット」という韓国の演歌が流れ旅情を誘います。往路はおじさん一人でしたが、復路はおばさんも加わり体感1分対岸に到着。

ソクチョ 東草の宿で「日本人観光客は多いですよ?」と聞いてみたところ、意外にもほとんど来ないとのこと。日本人は週末2泊3日の方が多く、地方まで足を伸ばす時間が無いのではないかとというのがオーナーさんの見立てでした。確かに西洋人は結構見かけたのですが、日本人には一人も出会わず。調べたところ東草の人口は蒲郡と同じ約8万人。しかも小さな港町。何だか親近感が湧きますね。気になる方はぜひ、東草へカジャ!

## DAY 7 ソウル (聖水)



6日目の夜に高速バスでソウルに戻り、最終日は最近オシャレカフェが増えてきたという聖水駅周辺を散策。たくさんのカフェの中「Marly」というお店でのんびりカフェタイム。日本と違って巨大なショートケーキは満足感◎でしたが、コーヒーとケーキだけでお値段約¥1,600はお財布には厳しめ。日本の安さを痛感しました。



ソクチョ どうやら人気店らしいこちらで塩パンも買ってました。

総括 韓国語ほとんど話せず。さらなる努力が望まれます。

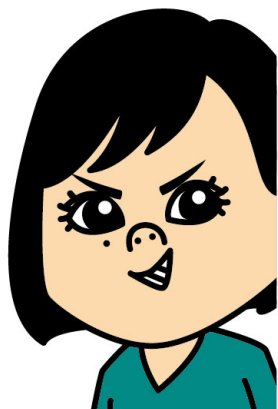


# ミデコラム

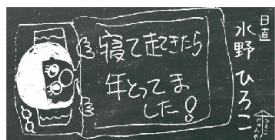
今月のにわか編集長  
足立直子

にわか編集長とは!?

ishin-denshinの編集長は持ち回り制。特集ページの執筆や、みんなのコラムにコメントをつけたり小コーナーの原稿をまとめるのが主な仕事です。



ミデコ社員ひとりひとりが、それぞれの個性を活かしたコラムを掲載!



第145回

## この光景

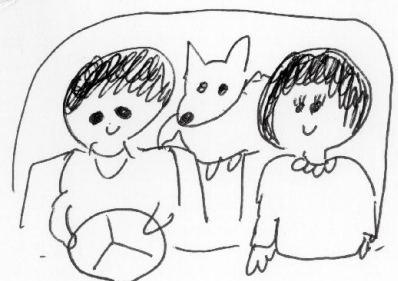
秋田犬ゆきちゃんの散歩に車でたびたびお出かけする。

ゆきちゃんは通常後ろの座席。前の座席にはパパとママが乗る。後ろの座席から前に座るパパとママの間から顔を出し、「何かちょーだい」と肩を叩く。かわいい、すごくかわいいのである。こんな光景どこで…

…。今や30を超えてしまった息子たちもそういえばこんな感じで後ろの座席から顔を覗かせていた。かわいかった、すごくかわいかった…。

チャイルドシートの着用が6歳以下の幼児に義務づけられたのが2000年でちょうど下の息子が6歳になったあとだった。だから、この光景が自分の記憶に残っているのであろう。

今や娘ゆきちゃんを車に乗せるのではなく、孫二人をのせるときは簡単に「はい乗って」とはいかず、ジュニアシートを装着してからでないといけな。ジュニアシートとシートベルトでしっかり座席に座っている



のだから、孫が後ろの座席から「ねえねえ」と顔を覗かせて話しかける光景もないのである。

時代と共に記憶される光景がかわっていくんだなと思ったのである。

にわか編集長コメント

子供の頃の私の定位置もまさにその場所でした。確かにあの場所は車が衝突でもしようなものならいっぺんにフロントガラスを突き破って彼方へ飛んでいく場所ですもんね。今では見られない(はず)の懐かしい光景です。



第146回

## 懐メロにセンチメンタル

たまたま聴いたTMネットワーク「GET WILD」。切なさを感じさせるイントロ、80年代後半のシティポップを感じさせるメロディ、全てが懐かしい。GET WILDは3歳~小学生の頃に観ていたシティハンターのエンディングテーマ。リアルタイムか、再放送を観たのかは覚えていない。聴けば幼少期の様々なことが蘇ってくる。思えば、幼い頃は大きな安心感に包まれ、不安や悩みというものは皆無。何もかもが新鮮で毎日楽しく充実していた。運動音痴であるがやや芸術肌な子どもでもあり、紙とペンさえあれば自由に自己の世界を描き、不用品を使ってアートのような作品を心のおもむくままに創っていた。他人と自分を比較すること

もなく、ただ日々を楽しむ。当時でも子どもなりに自分の長所短所は認識していたが、それぞれに素直に向き合い傲ることもなく、卑下することもない。あくまで自分の感性が基準であり、楽しめているかどうかだけ。もちろん怒られたり、喧嘩したり、恥をかいたり嫌な思いをしたりということもあったのだろうが、それ以上に楽しいことが勝り、ネガティブなことは隅に追いやられていった。良い意味でプライドもなかった。

ところが今はどうだろうか、恥をかく、自尊心が傷つくことを恐れ言動を慎む。変に先を読み空回りする。新たなことへの挑戦の機会を自ら作らず、日々を淡々と過ごす。自身の創作物は無意識に他者に評価を委ねる。全ての事象に意味付けをすることに躍起になり、行動に対しての見返りの有無がちらつく。以前、自宅PCのデータ整理をしていた時に20代の自分自身への戒めと思しきテキストデータがあった。それは「20代の内にかける恥はすべてかけ、やりたいことに躊躇するな」というような感じの文章で、何故書いたかは定かではないが、当時の自分も思うところがあったのだろうか。

30代後半となりこのような文章(今回の記事)を書くこと自体、けっこうイタイ感じではあると自覚しているが、日本の仏教界



Copyright 2021 Sony Music Entertainment (Japan) Inc. All rights reserved. Copyright 2021 Sony Music Solutions Inc. All rights reserved.

## きおく画伯

### 第98回

お題 トヨッキー

描いた人 佐藤さん

お馴染み豊橋市のキャラクター、トヨッキー！かなりツボを抑えています！実は「トヨッキー」は愛称で、本名は「ホの国ヨシダ」ってご存じでしたか？カッコよすぎ。

を支えてきた高僧方も晩年まで自分自身を見つめ続け、迷い、悩み、自らの愚かさを自覚し、自身と向き合ったとのこと。年齢問わず、一度立ち止まり自身と向き合うことは必要なことなのかもしれない。

懐メロを聞いて当時を思い、今を憂い、未来を考える糧とする。明日の命も保証されていない娑婆世界に生きるために、過去の自分ともう少し対話してみようかと思う次第。そして、GET WILDの歌詞の一字一句が心に響く今朝の通勤であった。

にわか編集長コメント

シティハンター、カッコよかったですねえ。毎話、話が完全に終わる前からエンディング曲のイントロが流れ始める手法は令和の今でも斬新でオシャレな終わり方なのではないでしょうか(最近のアニメを見ていないので定かではありませんが…)。年々伸びる平均寿命を思えば、今もまだまだ若い。死の間際にあの時アレやっというよかったです~!と思える行動を心掛けたいものです。



第145回

## かき氷街道制覇なるか!?

何年か越しの夏の野望に「かき氷街道制覇」がある。野望が遅々として進まないのは、我が家の男どもが「かき氷に興味なし」だということ。

長男とその彼女はすぐ付き合ってくる

が、なにせ名古屋だし…

なんなら名古屋の方が行きたいとこたくさんあるだろうし…

そんな厳選された機会なので、新規開拓すればいいものをついとお気に入りのお店に行ってしまう…

とにかくハードルが多いのだ。

今年の夏は「お茶」しぼりだった岡崎の「宮ザキ園」さんと和紅茶に舌鼓。ここは本当に美味しい!お店の雰囲気込みで、次男もトリコになりました。

つづいて、豊川の井指製茶さん「1\_34cafe」へ。こちらは、「お茶好き男子」親子がすぐ釣れた。が、実家の父を連れてランチ帰り寄ったので待ち時間がどえらいことに。(※お盆休暇で長男も帰省してた)サンシェードが完備しており、業務用の扇風機はフル回転。ウチワも貸してくださったのだが、とにかく暑い!!隣の父は「70超えの超インドアじいさん」なので、話しかけてないと意識が遠のいてしまわないかと、もはや会話が生存確認。や…っと思った時は、抹茶かき氷と抹茶フロートを即発注。すまんね…父。

「お茶屋さんなんだから」

- ・抹茶ラテと抹茶バスチーズケーキ
- ・お茶三煎と和紅茶バイクドチーズケーキ
- ・あさつゆの冷茶と麦どら焼き

で決める男子たちを尻目に、暑さから「ほうじ茶氷」一択の私。結局「かき氷うまそうだね…」の羨望の眼差しを独り占めでした。やっぱり体の求めるものに素直にならないとね☆

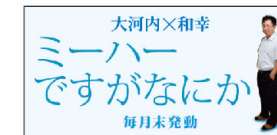


帰りにふらりと寄った井指園さんの売店。お店のお姉さんとおしゃべりで「いなりりんちゃ」にミントが配合されてると知り即購入。どこなく後味すっきりで、冷茶で嗜むのがおススメです。

来年は制覇に近づけるかしら…

にわか編集長コメント

かき氷といば、ただいま蒲郡市内で「がま氷博覧会」を絶賛開催中。蒲郡を彷彿とさせるアイデア溢れるかき氷が楽しめ、さらにスタンプラリーに参加すると抽選でペア宿泊券や金券がもらえます。イベントは9月末までなので、みなさんお急ぎください!



第146回

## やっぱり猫が好き?

あなたは犬派?それとも猫派? たまに聞かれる質問だがこれまではずっと犬派だとばかり思ってた生きてきた。思い起こせば実家を離れる15年程前までは物心ついた頃からずっとそばにワンコが寄り添っていた。散歩はもちろん、ごはんをあげたり一緒に遊んだりしたことが懐かしい。今ではすっかりワンコとの縁が無くなってしまったが、いつしか我が家のブロック塀を竊模様の子猫が歩いていく姿を目にするようになった。飼う猫なのか野良猫なのかまったく知る由もないが、ちょいちょい姿を見せるようになってきて、「アッ、猫ちゃん来たよ!」と家の誰かが気が付くとそっと窓際



からその姿を見つめることがつかの間の癒しとなっていた。しかしニャンコもこの猛暑の中、出歩くことを控えているのか最近はずっかり姿を見せなくなってしまった…。そんなある日、とある情報番組で「ツダケン」こと津田健次郎大先生がアニメの猫役を演じることを知った。その名も「ラーメン赤猫」。リアルな人間の世界に言葉話す猫が経営するラーメン屋が舞台だという。「???」これだけではさっぱりわからない。というわけで真偽を確かめるべく早速チェックしてみた。

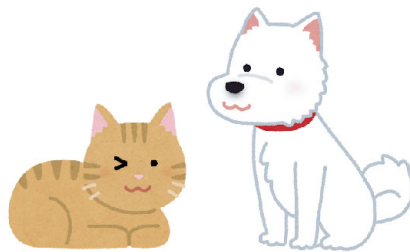
TBS系28局全国同時放送、毎週木曜日11時56分からこの7月に待望のTVアニメが放送スタートした。作品の舞台は、店長の文蔵(津田健次郎)はじめ、接客・レジ・経理担当の佐々木、看板娘(看板猫?)のハナ、調理・盛り付け担当のサブ、製麺担当の虎・クリシュナら、個性あふれる猫(虎一匹)たちが働くラーメン屋「ラーメン赤猫」。まさに人間のように働く猫たちと彼らのお世話係として採用された唯一の女性・社珠子(やしろたまご)、それを支える猫好きな人間たち、さらには様々な客が訪れるラーメン屋で描かれるちょっと不思議な世界。これだけではよくわからないかもしれないが、本当に猫がラーメン屋を切り盛りしている。まさに実在している町中華のごとく、というリアリティで営業している。そもそも、猫が話せるの？毛は入らないの？法的に大丈夫なの？どうやって営業許可を取ったの？的な疑問ばかりで猛突っ込みされそうだが、フィクションだからそんな心配は一切無用なのだ。

話せてラーメンを作ることができる猫という思いっきりぶっ飛んだ設定は、現実では絶対にありえない話ではあるものの、ラーメン赤猫のスタッフたちは味はもちろん、接客も一流、目を見張る経営手腕もあれば福利厚生など従業員の待遇もしっかりしている素晴らしいラーメン店だ。さらにスタッフそれぞれに背景があって、それが毎

回少しずつ明かされるキャラクター設定が見事。常連のお客にもちょっとしたエピソードを盛り込んで飽きさせない工夫もされている。さらにこの店のモットーは「接客一番、味二番」。味への研究にも一切妥協を許さない職猫気質の文蔵は、それでも味は二番と言い切る。美味しいラーメンを食べたとしてもお客が満足しなければ意味がない。「来て良かったな」と思って帰ってもらうことこそが一番なのだ。「猫が好き」という理由で来店したお客のニーズを理解しつつも、それ以上の喜びを必ず与えるように全力を尽くす。つまりはお客が何を求めているか想像力を働かせることをスタッフ全員が共有しているからこそ成せる業なのであろう。この話の根底にあるのはスタッフ全員の労働環境を徹底的に良好に保つ佐々木さんのコンプライアンス意識の高さ。弁護士をはじめ人間顔負けの猫脈と相談して整えた労働環境で、皆ここまで生き生きと働けるものかと思ひ知らせてくれる。たかがラーメン、されどラーメン。こんな意識を持った猫さんたちなら一緒に働くのもアリなのではと思ってしまうほどのラーメン赤猫。今後の登場猫と珠子さんのこれからが気になって仕方がない。

#### にわか編集長コメント

人間のような猫といえば、だいぶ前に放送されていた「夜廻り猫」を思い出します。あれも猫とは思えぬ言動で一見奇妙な設定ですが、見ているうちに主人公が猫であることが全く気にならなくなる名作でした。



## 一に日は道

水野 順也

### 第145回

#### 情報の奴隷

電車の中ではほぼ全ての人々がスマホを覗き、会議の中ではスマホを覗き、社内でもスマホを覗き、食事の最中にも、寝る前にも。しかも、相手がどういう状況かわからないのにどこでも携帯が鳴る、LINEの着信音が鳴る。会議中に電話がかかってきて、席を外す人、相手と話をしている最中の携帯電話を優先して話を中断させる人。どういう状況であろうと真っ先にLINEの返事を返す人。…暇つぶしや時間を有効にという考えもあるが、違和感を抱きつつも私もその一人である。

会議の最中にせっせとスマホをスクロールする隣の人をチラッと覗き込むと、SNSを流し読みしているではないか。毎回である。そんな人はチラホラ見受けられる。会議中にかかってきた電話に席を外し長対応。会議とスマホを同時に操る器用な方だと誰も思わない。皆が集まる会議には出席しなくてよい。むしろ自分のスマホ時間を大いに堪能してほしい。そんな人は完全に目的を失っているし、自分自身も見失っている。きつとこういう類の人は全ての行為がそうなんだろう。まさに情報の奴隷。スマホの奴隷と化している。本末転倒だが、結果、何の情報も得られなくなる。ちなみに人間の判断は正確な情報の量と経験値によりなされるのだ。

#### にわか編集長コメント

私も長年スマホの奴隷です。しかし最近、寝る前に軽く運動するようにしたお陰でベッドの中でスマホを見る習慣がパタリとなくなりました。このまま続けば良いのですが…



## メグブ-の30分で! 3品クッキング



#### 豚コマの唐揚げ(作りやすい分量)

豚コマ切れ肉 300g程度  
(大きければ3センチ幅くらいに切る)  
生姜すりおろし 小さじ2程度  
醤油 大さじ1程度  
酒 大さじ1程度  
卵 1個  
片栗粉 大さじ3程度

- 1) 豚肉、調味料、溶き卵をよく混ぜて馴染ませる。
- 2) 片栗粉を入れてさらによく混ぜ、一口大に丸めながら中温で熱した油に入れて2~3分揚げる。弾力が出て狐色になればOK。
- 3) 器に盛り、あればレモンやすだちなどを添える。

#### カボチャのサラダ

カボチャ 200g~300g程度  
レーズン 好みの量  
マヨネーズ 好みの量

- 1) カボチャは洗って2~2.5cm角に切り、ラップに包んで柔らかくなるまでレンジにかける。
- 2) ボールに入れマヨネーズとレーズンを加えて和える。

#### しめじのペペロンチーノ

しめじ 1袋  
ニンニク 1~2かけ  
唐辛子輪切り 少々  
オリーブオイル 小さじ2程度  
塩、胡椒 少々

- 1) しめじは根元を切って小房に分ける。
- 2) フライパンを中火で熱し、オイル、ニンニク、赤唐辛子を入れ、香りが出たらしめじを入れ、塩を振って炒める。
- 3) しめじがしんなりしたら味を見て火からおろす。器に盛って好みで胡椒をふる。

#### ひとくちメモ

豚コマの唐揚げは好みでニンニクすりおろしを加えても美味しいです。醤油の量を半分くらいにし、食べる時に好みで塩胡椒や七味マヨを添えたり、甘酢あんを絡めて酢豚風、醤油と味噌で照り焼き風などアレンジもできます。

#### にわか編集長コメント

毎回すこ〜く美味しくそうで、しかも簡単そうなのでやってみたい!と思うのには出来ないのは私がズボラだからなのでしょう…。お料理が趣味になれば、身体にもお財布にも優しくしかも楽しくてまさに一石三鳥。いつかスイッチが入るでしょうか。

#### 〜どこかで生まれる365物語〜

毎日かき 日記念日  
Satou Rin

365日、意味のない日なんて無いのです。変わり映えのない日常も意味さえわかれば彩り増すはず。さあ、今月のお話は一体何の日を教えてくれるのでしょうか？

### 第10回 招き猫の日

私の街は、至る所に焼き物屋が存在する。テレビに特集されて観光客まみれの処、本当にやっているかどうかもわからない廃れた処。それもまたこの世界における必要な格差だと思いつつ自分は商店街を抜け、少しばかり林に入ったところの小屋の戸を叩いた。その音に返事をするようにみやおと、どこから出てきたのかかわらない野良猫たちの相手をしながらその戸が開かれるのを待つ。ここを見つけた時より明らかに増えている猫たちに、持ってくる煮干しやおやつはいつの間にかポケットに隠し持ってくる程度では足りなくなっていた。

ぼんやりと聞こえたお入り、という声に小屋へ入れば大量の招き猫の置物に出迎えられて。目の前の老婆が一人で黙々と作っているらしい買手のいない焼き物は埃を被っているだけどころか日焼けで色が褪せている。だというのに減りもせず増えていくばかりなのはどうか。 「ばば様はなんで売らないの。」 「捨てられた猫たちを二度も手放さうものなら崇られてしまうよ。」

招き猫の由来は人間が飼えなくなって捨てた猫の姿を模ったもの。福を呼んでやるから焼き物にしてそばにおけ、と夢に出てきたとかなんとか。だから飼った猫に合わせた招き猫を作る工房や、オーダメイドの通販とかがあるらしいとか。私にはそれらが気持ち悪くてしかたなくて。考えてみればおかしな話だとは誰も思わないのだろうか、と。

「捨てた相手に福をあげるなんて、ぬ。」 「本当に呼んだのが福かどうかは分からずじまいさ。それが答えだよ。」 そう言った近くの猫の頭を撫でる老婆の声に自分の口角が上がる。幸せを呼ぶ招き猫。そんな上辺より実は復讐したい捨て猫がその機会を伺っていると思った方が幾分かすっきりする。「招き」猫ね、とくつくつと肩を震わせて笑うそんな私を、多くの猫の目が見ていた。

9月29日は招き猫の日。まだ夏の暑さが残っているということでもちょっとひんやりするような怖い話になればなあ、と書いたんですが、後味の悪い小説の冒頭のようなものになってしまった気も…トホホ。ということで、招き猫が生まれた理由に触れてみたお話だったわけですが、この猫は本当に福を寄せてくれるのか。この世の全てのものには生まれた理由がある。けれどその理由は素直に胸に落ちるものばかりではなさそうかも…?

#### にわか編集長コメント

招き猫発祥の地と言われる、東京の豪徳寺に行ったことがあります。招き猫だらけで可愛かった〜!由来は諸説あるようですが、捨てられた猫が自分をそばに置いて欲しいと夢に出てきたのだとしたら、切ないような怖いような。



#### 今月のお題

睡眠の質を高めるためにしている工夫



クエン酸



痛いところに貼る



良い寝具を買う



目(心)想(お香)



お風呂に体を動かす



ストレッチポール



一時間前から読書する



乳児のマネ

### 社長と行こう! KOSSORI-SHOKUDO



さんさん

with 大河内・佐藤

今回は幸田町六粟の珈琲舎「さんさん」さんへ。店内はまさに「サ・昭和の純喫茶」といった近頃ではあまり見なくなった昔ながらのレトロな喫茶店です。孤独のグルメの井之頭五郎さんが

ふらっと来てても不思議ではないような、そんな雰囲気のお店です。スパゲティからハンバーグまで今ではめっきり少なくなった鉄板で料理を提供してくれると予習済み。メニューは悩んだあげく、ハンバーグに乗ったミートスパゲティを注文しました。鉄板を乗せるための木皿が先に出ると、ほどなくしてアツアツ鉄板の真打ち登場!いつまでも熱が逃げずに最後までフーフーして美味しく食べられるってスゴイです。あとはごはんサラダなんかが付いていたら最



高ですよ。社長が注文して鉄板イタリアンも捨てがたいし…。思えば、我が家からクルマで5分とかからないところ。また近い内に絶対に行きたくなるお店でしたっ! (文:大河内)

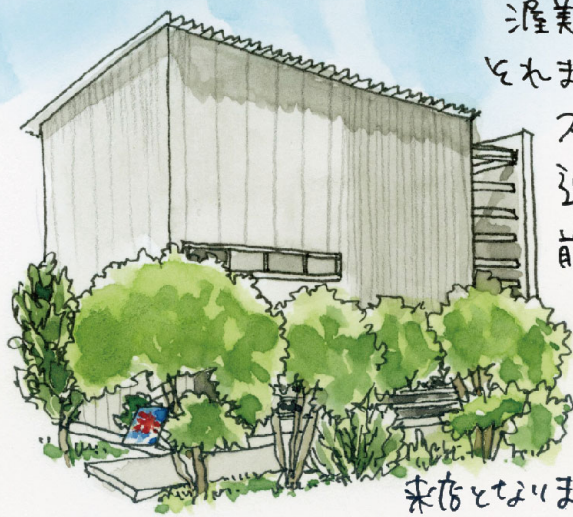


あだちポイント  
のんびりカフェ  
2024. 8. 25 Sun.

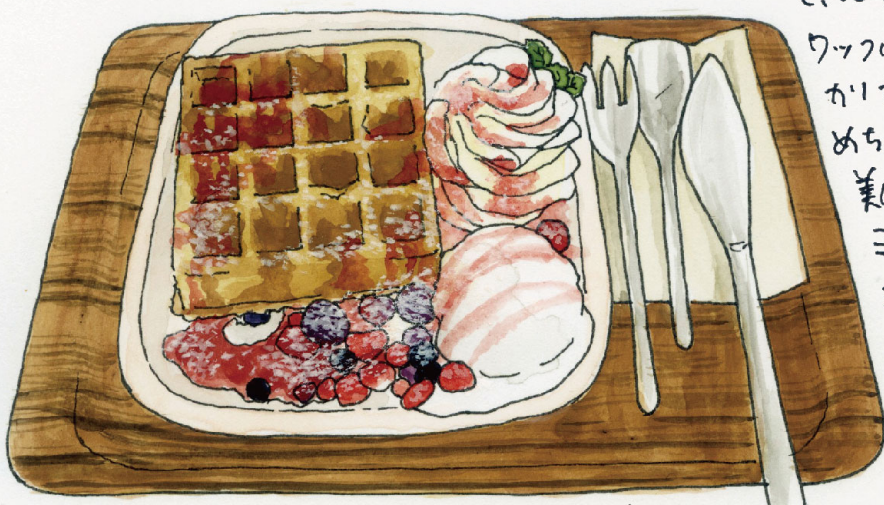
file. 98

# SAKURA CAFE

ベリーヨーグルトワッフル  
(シングル) ¥990  
アイスコーヒー ¥500



渥美線沿線に用事があり、  
それまでの時間をこちらの  
ステキな雑貨カフェで  
過ごすことに。実は数年前  
前からここは知っていた  
カフェだったか  
なかなか行く機会  
がなく、  
その日の  
来店となりましたが...  
たよでもっと早く来たかったらどう!?  
と、ぼんやり思...まての  
ワッフルは外が  
かりかりで  
めちやくち  
美味しい♡  
ヨーグルトシャーベットも  
最高♡ オシャレな雑貨も  
揃っていて、来るだけで  
ワクワクするよな居心地の  
よいカフェです😊



OPEN 9:00-18:00. CLOSED 水木 白田原市豊島町前田 8-1 P.A. 豊島駅徒歩約1分!

## にわか編集長 コメント

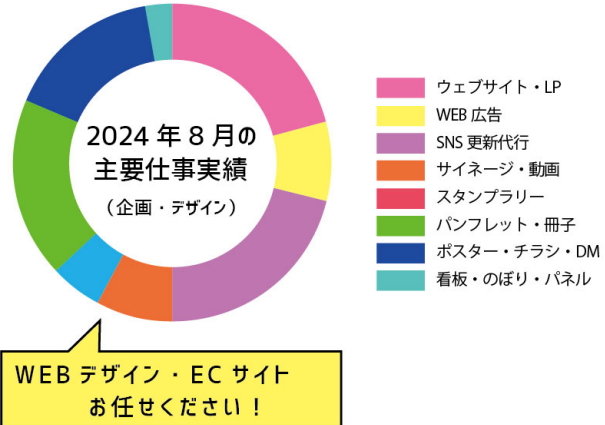
豊橋鉄道の渥美線。これまで渥美線で豊橋から出たことはなかったのですが、今回初めて豊島駅まで行ってきました。のどかな車窓は日曜日にピッタリ。今度はぜひ終点の三河田原駅まで揺られてみたいです。

HYOUshino **表裏** 紙の話 URAbanashi

### 光輝く西浦の夜

撮影者：山本兼佑

漆黒の海に光輝く展望台。現実離れたロマンチックな雰囲気です。しかし、現実はたくさんの蚊におそわれ痒みと闘いながら撮影しました。虫除けスプレーを持参すればよかったです。この直前西浦の秋田犬、練り物三兄弟に遭遇しましたよ。

## 今月の

## にわか編集長 編集後記も持ち回り制!

コロナ禍を脱して1年数ヶ月。行きたい時に行きたい場所に行けない期間を経験し、突然旅行が趣味になりました。円安で海外旅行はなかなか難しいですが、気になる場所にはなるべく行けるうちに行っておきたいと思います。

足立 直子